

2025年度 第6回理事会議事録

2025年9月11日（木）19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

| | |
|----------|-----|
| 理事総数 | 28名 |
| 本日の出席理事数 | 22名 |
| 監事総数 | 2名 |
| 本日の出席監事数 | 2名 |

■出席役員：会長）宇田英幸 副会長）伊藤伸、平田樹伸

理事）、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、阪井之哉、佐々木竜也、鈴木香織、鈴木康子、高橋啓吾、館岡周平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也、吉田朋子、渡部慶和
監事）岡田洋一、西田典史

■委任役員：理事）赤間公一、神山真美、種沢浩平

■欠席役員：

■他出席：法人管理部）嘉成望

■他欠席： 敬称略

■議題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 2025年度 第5回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】（資料1）

*内容を一部修正し、満場一致で可決された。

第2号議案 繰越金還元の方法について【財務：北村】（資料2）

コロナ以降の繰越金が1500万円を超える会費収入を超えており、会員に還元するための検討が必要。

11月ごろまでに結論を出していきたい。継続審議とし、検討するための意見交換をしたい。

案① 期間限定での会費値下げ

1000円または2000円減額をまず3年間。状況に応じ延長は総会承認が必要。

案② 研修参加費見直し

規程を見直しまたはコロナ禍と同様臨時措置としての減額を行う

案③ ①と②の2本立て

【意見・Q&A】

・繰越金の上限限度額が法律的な問題があるのか？

→内部留保が増えてしまったことで、法人の会計処理上の問題はない。

・協会委員=士会員となるのか？全国で均等になるのか？

→協会員=士会員を今後していくにあたり、各士会で設定した士会の会費を協会がまとめて徴収する形となる。

・会員全員に均等に還元するために、会費の値下げが良いのではないかと考える。また、減額にあたり、見通しを提示する必要もあると考える。

・研修日の値下げは、一部の会員となる。また、運営する側としても、金額変更が頻繁になると不具合が生じる可能性がある。一方で、受講者には学びやすいというメリットにも繋がる。

- ・2024年の収入が増額している理由としては、140万が臨床実習指導者講習会の値上げの額面となっている。
- ・実習指導者講習会は非会員を参加費増額したが、現在は収支がプラスマイナス0になっている。
- ・県士会活動に貢献することで、報酬がついてくるという付加価値をつけていけたら良いのではないか。
- ・社会活動のアピールに繰越金を当てても良いのではないか。
- ・新入会者を増やし、若い会員さんに参加していただけるようにしていきたい。

*継続審議とする。

①次の理事会までの追加情報提供（北村理事）、②各職場からの情報提供をお願いしたい。

第3号議案 戸田市みどり公園課「インクルーシブ遊具体験会」への作業療法士派遣について

【法人管理部：大橋】（資料3）

戸田市から10月24日・25日にインクルーシブ遊具体験会を行うが、作業療法士2名の派遣要請があつた。依頼内容としては、障害のある子どもへの作業療法視点での支援および体験されるご家族の相談を行う。障害の程度については、事前情報提供される。

24日のスケジュールとしては、

AMについては、特別支援学校の生徒さんが遠足でくる子どもたちの支援。

PMについては、完全予約制で実施する。

- ・派遣に際し、戸田市からの謝礼は無償であることから、OTの啓蒙活動をさせてもらえるよう交渉してみても良いのではないか。また、同時に社会貢献をしていくことで、作業療法を知ってもらう良い機会となると考える。
- ・子ども支援委員会では、現状1名が参加可能という状況である。

*県士会負担で作業療法士を派遣することで、満場一致で可決された。

*派遣する作業療法士は、子ども支援委員会に一任すること、および協賛依頼を受けることについて、満場一致で可決された。

第4号議案 作業療法士派遣報酬規程（仮）について【法人管理部：大橋】（資料4）

作業療法士の派遣依頼があった際に、報酬を定めるため作業療法士派遣報酬規程を作成した。

茨城・船橋の規程を参考にし、派遣事業運用規程とし、報償費、保険、派遣回数等の内容を含めて作成した。特に、赤字部分を検討して欲しい。

- ・派遣先の対象は、市町村および保健・医療・福祉に資する事業所等とし、市町村等からの依頼に対し作業療法士の派遣を行い、派遣者においては技術的な支援および助言を行う。
- ・派遣に係る経費として派遣者に事務手数料を除いて経費を支払う。
- ・派遣者は原則、当会に所属する作業療法士とする。
- ・派遣者への報償費は1時間あたりいくらにするか検討を行う。

【情報共有】

保育所等訪問の相場は？

⇒自治体で違う。福祉ベースだと低賃金となる。事業の形態によっては、万単位での依頼もある。

川越で立ちあがった法務省案件の現状は？⇒1,200円/2時間

ケア会議⇒市町村ごとで違いはあるが、8,000～15,000円。

外部専門家⇒2,400円/1時間（埼玉県特別支援学校）

・時間単価としての考え方を持っていければ良いのではないか。

*継続審議

第5号議案 研修会子連れ参加の際の補償について【東部ブロック：内藤】（資料5）

子ども連れで研修参加可能としている。その際に子供に関するトラブルが起きた場合の補償について検討したい。

（案）

1. 案内に子供の事故や施設の破損などは自己負担

→自己負担は、金額面で大変なことになることもある。その為、対物の保障を含めた保険を検討した方が良いのではないか。

2. 一日のみのレジャー保険への加入（参考資料）

3. 案内に子供の事故や施設の破損などは自己負担と記載し一日のみのレジャー保険への加入

【社共の確認】

- ・社共：士会員のみの保証されている。子どもは対象外。
- ・社共のボランティア保険も使用対象となる可能性がある。

- ① 子どもが参加する場合には、参加費は無料とし、保険加入の為の保険料を負担して頂く。
- ② 具体的な保険会社・内容等については、内藤理事と事務局（事務伊藤さん・北村理事）一任。

*①②について、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

日本公衆衛生学会からの協会への依頼において、各道府県各1名研修会参加を選出する。

- 2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

戸田市みどり公園課「インクルーシブ遊具体験会」作業療法士派遣依頼への対応。

- 3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

定期便の準備を進めている。

- 4) 財務部：北村理事より以下の報告があった。

広報部にご相談のうえ、HPに県士会加入の保険の案内を出していけたらと考えている。

- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

9月5日 18:00～19:00 研修部会開催した。

3回分の研修計画について話し合った。

(1) 開催時期：最短12月～3月→3回ですすめる

(2) 講師候補の方向性：脳画像のみかた、高次脳機能障害者の地域支援、作業科学について

(3) 役割分担について

講師打診を行なっていく。

6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

演題募集要項検討中。

第35回埼玉県作業療法学会

開催日：2026年7月12日（日）

会場：目白大学

学長：花房謙一（目白大学）

7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

研修会終了後にポイント申請を速やかにお願いいたします。

今年度からポイント付与のシートが変更となっているため、注意いただきたい。

生涯教育制度が2026年度終了に伴い、既存会員への案内を電子定期便で案内した。

今年度からポイント付与のシートが変更となっているため、注意いただきたい。

8) 生涯教育委員会：神山理事欠席のため、鈴木香織理事より以下の報告があった。

現職者共通研修、選択研修の開催準備を進めています。

【共通研修】

9月12日（金） 実践のための作業療法研究法

9月25日（木） 事例報告・事例検討

9月30日（火） 作業療法の可能性

【選択研修】

10月5日（日） 身体障害領域の作業療法

9) 養成教育委員会：岡部理事より報告事項なし。

10) 職能開発事業部：藤田理事より以下の報告があった。

一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項。SCPA Japan（日本脳卒中医療ケア従事者連合、事務局：京都大学病院）の第二回全国大会に参加した。

日時：2025年9月9日 17:00-19:00

会場：オンライン

内容：【講演1】脳卒中学会理事長 藤本茂「脳卒中窓口の展開～脳卒中療養相談士・マニュアル・脳卒中相談窓口実績報告～」相談士は主にMSWで、相談士数は増加

【講演2】京都大学医学部付属病院 脳卒中療養支援センター榎戸真弓「第一回脳卒中相談窓口全国大会報告」

【理事長報告】

京都大学医学部付属病院 脳卒中療養支援センター宮本享 「脳卒中・心臓病等総合支援センター事業と研究班にもとづく多職種連携の展開」京都府では多職種、同職種での連携会議を定期的に開催し、共通の報告書を作成して使用中。

【社員団体からの指定発言】

日本作業療法士協会の山本伸一会長からの発言があり、作業療法士の仕事の領域には復職支援、運転再開支援、等があり、脳卒中の社会参加に関わる職種であることをアピールされていた。

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会委員との連絡事項（埼玉県保健医療部疾病対策課所轄）・・・なし

11) 広報部：近森理事欠席であるが、以下の報告があった。

広報誌「彩り」2025年秋号（県士会学会特集）コメントが集まり、次回の理事会審議に向けて作成中。

研修会準備中。参加者が埼玉県以外も11の道府県からの参加申し込みがあり。

【研修会】

2025年10月1日（水） 第1回 広報部Presents

「伝わる！見やすい！プレゼン資料のつくり方」

12) 地域リハ推進部：館岡理事より以下の報告があった。

9月9日三士会リハフェスタ担当で会議を実施。10月25日のリハフェスタについて準備を進めている。チラシ完成したため、県内高校に9月中に郵送。士会員には電子定期便で案内する。次年度は9月1週目を候補と、今年度同様の場所を検討している。

13) 地域包括ケア推進部：平田理事より報告事項なし。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。

8月21日 お城de カフェ OT1名参加

8月22日 武里オレンジカフェ OT1名参加

8月30日 若年のつどい飯能 OT6名参加

9月13日 若年のつどい越谷開催予定

9月25日 世界アルツハイマー記念講演会 部員参加予定

15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。

8月24日埼玉災害リハマニュアル作成部会

8月28日災害リハマニュアル コアメンバー会議

9月4日災害リハマニュアル コアメンバー会議

【予定】

9月19日埼玉版FIMA図上訓練

9月25日OT協会災害発生を想定した訓練

BANDでGoogleフォームにリアクションを

9月27日士会協会災害対策担当者情報交換会

16) 制度対策部：江原理事より報告事項なし。

17) 各ブロック

東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。

9月18日、11月16日に語らNight実施予定。

西部ブロック：種沢理事より報告事項なし。

南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

8月16日 上尾中央医療専門学校オープンキャンパスにブロック員を3名派遣した。

8月19日 南部ブロック座談会を開催した。

10月25日 目白大学学園祭に参加予定。

12月16日（火）語らnight! ~今臨床で困っていることを語り合おう~

北部ブロック：桑原理事より以下の報告があった。

9月8日 北部ブロック会議開催予定

10月20日 語らナイト開催予定

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事より以下の報告があった。

11月9日 訪問リハ実務者研修会 BASIC コース

3月8日 訪問OT専門研修 講師：戸田竜也氏（一般社団法人 SCRAP&BUILD）

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。

9月14日 28名参加予定

指導者認定が論文から口頭試問に変更となり、オンラインで指導者認定となる。

県士会HPへ記載をしていく方向で！リンクを貼る。

20) 子ども支援委員会：佐々木理事より報告があった。

8月31日（日）に現職者選択研修（発達領域）が開催された。

現在参加者へのアンケート募集期間中。

11月1日・2日に「発達領域を専門とする作業療法士のための研修（セラピスト養成講座）」を開催予定。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より以下の報告があった。

福祉用具相談支援システム事業受理

案内文の作成中。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。

8/24 コラボ研修会の当日運営、事例作成を行いました。

オンデマンド配信にむけて準備をしています。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事欠席のため、報告事項なし。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

8月26日 ここくら会議実施

8月27日 川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加

9月4日 ここくら会議実施

9月10日 川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加

10月4日 第20回ここくらOT室開催予定

高知リハビリテーション専門職大学の足立一先生をゲストに迎える

25) 第35回埼玉県作業療法学会：小池理事より以下の報告があった。

演題募集要項検討中。

第35回埼玉県作業療法学会 開催日：2026年7月12日（日）会場：目白大学

学長：花房謙一（目白大学）

26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティケアネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。

27) 倫理委員会：伊藤副会長より以下の報告があった。

8月理事会にて4規程を承認

HPに倫理のページを公開し、倫理対応窓口（メールアドレス）を公開した。

9月20日OT協会による都土会・協会倫理連携担当者情報交換会に出席予定

(伊藤、鈴木香織)

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

本日も活発なご議論をありがとうございました。この会の主目的は仲間を増やし仲間同士で助け合い、もって対象者のみなさんの健康と幸福を増進することです。そのためには我々の健康と幸福が大事。卵が先かニワトリが先かのような話になってしまいますが、要はどちらも大事なのであとはアイデア次第。人をやる気にさせる専門家が作業療法士。みなさまからきっとよいアイデアが出てくると信じています。よろしくお願ひします。今月はアルツハイマー月間なのでこれでいいのだバンドの営業で大忙しですが、やりがいありますよ。音楽の力は素晴らしいです。認知症が進行しても参加の仕方はあるし、やればやるほどファンも増えています。一緒にやりたい人はお声がけください。音楽以外の作業、活動を通して地域を豊かにしていくアイデアも募集しています。ダンス、クラフト、料理、なんでもよいのです。

<8月報告>

2日 ここくらOT室

4日 事務局伊藤さん謝恩Zoom

7日 川越刑務所における福祉支援過程作業療法プログラム検討会

14日 理事会

20日 認知症の人と家族の会埼玉県支部主催アルツハイマーデイ記念後援打合せ

26日 川越刑務所における福祉支援過程作業療法プログラム検討会

<9月予定>

4日 ここくら会議

6日 所沢市MCI市民公開講座 これでいいのだバンド演奏

8日 リハ専協会理事会

11日 理事会

13日 若年性認知症本人と家族のつどい 越谷

18日 お城deカフェ

25日 アルツハイマーデー記念講演会 来賓 これでいいのだバンド出演

2) 平田副会長より

子ども関係、地域関係など様々なことに参画していく中で、作業療法士への期待がふえてきていることに喜びを感じている。作業療法士が社会的に求められており、社会投資として作業療法士としてかかわっていきたい。

3) 伊藤副会長より

倫理委員長を兼務しているが、倫理の窓口としての問い合わせ窓口を開設した。

注目されて活躍ができる職種となってきたことに比して、倫理的問題も出てくることから倫理の意識をもっていきたい。自覚して取り組んでいってほしい。

3. 監事より

1) 西田監事より

行政から作業療法士から求めてられていることを実感した。

2) 岡田監事より

20 年前からの変遷の中で、作業療法士への依頼が増え、求められる職種となってきたことが感慨深い。時代を経て実を結んできたが素晴らしい。

4. その他

III. その他

次回理事会：2025 年 10 月 9 日（木）オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は 21 時 35 分閉会を宣した。

2025 年 9 月 11 日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会